お知らせ これからの「こがおも」

12月に市議補選が実施される場合は、「こがおも」から候補者を擁立へ

12月の小金井市長選の出馬は今のところ見送る予定ですが、その市長選と同時に市議会議員補欠選挙が実施される場合を想定して、政治団体・小金井をおもしろくする会として候補者を立てる準備を進めています。候補予定者は、4人の子どもを育ててきた女性で、主に子育て分野において長く地域で活動されてきた方です。保育園・幼稚園・学童やPTA、放課後など様々な面で問題意識を持ち、その環境改善に取り組んでこられました。

市の審議会も多数経験され、なんといっても法律にも詳しく、介護や障がい者などのサポートにも関わり、これからの時代に必要な知識とスキルを持った貴重な人材です。

小金井をおもしろくする会としての当面の目標は「仲間を増やす」です。国政政党に属さず関与せず、主体的な地域住民による、小金井市のための政治集団をつくることを目指していきます。

情報発信力NO.1 市政情報、活動報告を発信しています

毎日更新中！

blog
ameblo.jp/toru-ga-toru/

www.facebook.com/kogaomo/

twitter.com/shirai106

お気軽にお立ち寄りください！

こがおも秘密基地（白井とおる事務所）
小金井市東町4-38-27-201
東小金井南口商店街・トチノキ公園南西の建物2F

寄付のお願い

活動の継続＆充実には資金が必要です！
よろしくお願いいたします。

ゆうちょ銀行からの場合
口座記号番号：00110-9-292515
口座名称（漢字）：小金井をおもしろくする会
口座名称（カナ）：コガネイヲオモシロクスルカイ

他銀行からの場合
店名（店番）：〇一九（ゼロイチキュウ）店　（019）
預金種目：当座　口座番号：292515
口座名称（漢字）：小金井をおもしろくする会
口座名称（カナ）：コガネイヲオモシロクスルカイ

お問い合わせ・ご意見・ご要望はコチラ

小金井をおもしろくする会
TEL：080-4004-5927

代表　白井 亨
（小金井市議会議員）

子育て政策係
水谷 多加子

噂の こがおもマガジン

Vol.85（政治団体版・特別号）2019年7月22日発行号

2年間の成果と「こがおも」のこれから

市議補選に、候補者擁立へ

政治団体
小金井をおもしろくする会

討議資料

小金井市議・白井亨の 2年間の成果報告

保育の「質」確保のための、ビジョン&ガイドライン策定へ!

小金井市全体の保育の「質」維持・向上のために、公立・私立を問わず、共通の目指す保育の将来像（ビジョン）と保育の「質」の維持・向上のためのガイドライン策定を市議会で何度も主張。その提案が実現。現在、保育計画策定委員会で協議が行われています。

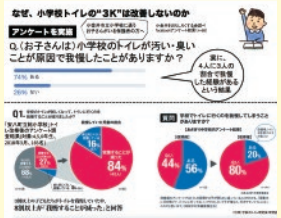
障がい者差別解消条例、委員会で修正後全会一致で可決へ!

昨年3月に市長から提案された障害者差別解消条例は、内容に不十分な点が散見されたため継続審議扱いに。厚生文教委員会の有志で視察、勉強会、意見交換会ののち修正協議を経て、次の定例会で修正案を全会一致で可決しました（2018年10月施行）。

シティプロモーション基本方針を策定へ!

以前から提案していた「小金井市シティプロモーションの基本方針」の策定がようやく実現しました。とはいえ効果的に情報発信をするためにはまだ内容が不十分であり、まずは考え方を整理したに過ぎません。今後はデザインの観点を入れた広報の在り方について提案していきます。

小学校トイレの3K問題の解消に向けての調査・研究



市立小学校のトイレの３Ｋ（汚い、臭い、暗い）について、市民からの声をもとに調査研究し、その原因と対策について提案しました。洋式化が遅れていることと、清掃含むメンテナンスの在り方が課題となっています。

キャリア形成支援型人材育成の在り方と女性管理職増への提言

小金井市役所職員1人ひとりのポテシャルがまだまだ充分発揮されていません。従来の型にはまった人材配置や研修による育成ではなく、キャリア形成支援を通して能力開発を促す新しい仕組みが必要です。この視点を次の人材育成計画に盛り込む旨の答弁を引き出しています。

討議資料

ねぇねぇ、教えて！

＼こがおも・子育て政策係 水谷多加子さんに聴く／

子どもたちのまちづくりの関わり方

PROFILE

水谷 多加子（みずたに たかこ）

兵庫県神戸市生まれ・小金井市在住（20年）／行政書士／オフィスTA・KA・KO代表／4人の子の母（24歳・21歳・18歳・16歳）／㈱リクルート人材センター（現リクルートエージェント）にて、企業内研修の営業・企画・トレーナー教育を担当後、退職／中央大学大学院法務研究科修了／子育て情報サイト「のびのびーの!」前編集長／NPO法人ライフサポート東京正会員／政策提言塾・NPO法人一新塾43期生　●現在進行中のプロジェクト→放課後を本気（まじ）で考えるプロジェクト／障がい者の自活できる社会創りプロジェクト 等

白井：これからの時代はまちづくりの合意形成の仕方が問われる時代です。市民1人ひとりの住む町への関わり方が課題ですが、水谷さんは、主権者教育の視察でドイツとスウェーデンに行かれましたよね。いちばん印象的だったのは、何ですか?

水谷：2017年にドイツの国政選挙期間中に見学した「候補者と小中学生の意見交換会」ですね。地域の各政党立候補者を呼んで、一問一答式でやるのですが、質問の内容を考え司会進行をするのは、なんと小中学生なのです。

白井：すごいですね! 行政が形式的な場を整えて市民がお客さん的に参加の日本と違いますね。小中学生との対話はどんなやりとりがあったのでしょうか。

水谷：例えば、各党の学校予算の政策説明に対し、子どもから「あなたの党は、前回の選挙で小学校の改修工事をすると言ったけど、1校やっただけでやめてしまいましたよね?」なんていう鋭い指摘がありました。大人もタジタジです。

昨年 11 月のスウェーデン視察報告会の様子

白井：子どもたちがそんな風に具体的なツッコミや質問ができる背景には、選挙時のみならず普段からのリアルな主権者教育が要因なんですかね?

水谷：政策に関係するようなテーマの授業や、化学の授業で原子力について学び、原子力発電の是非を議論させたり、選挙にあたっては、テーマごとで各党の政策がわかるようにまとめた冊子を配ったり、子どもたちに自分の政党をつくり政策を考えさせる授業等がありましたね。

今回のお話で感じたこと

短時間のヒアリングで「子どもの意見を聴いた」と終わらせるのではなく、子どもたちに自分の意見を自由に発言してもらう工夫が必要だと感じました。また、選挙の時だけではなく、日常からの主権者教育活動や、そもそも自由に意見を言い合える雰囲気が重要だと思いました。

＼残り2年／さらに取り組むテーマ

庁舎・福祉会館建設

特別委員長になりました。より良い庁舎と福祉会館となるよう、議会としてのチェック&後押しを。

子どもの権利&居場所づくり

条例施行10周年を機に、実効性のある施策を提案中。子どもの育ちに全面的に支援を。

都市計画道路問題

はけの自然と景観・文化を変えてしまう3.4.11号線について、その建設の是非を協議できる場の要望へ。

2025年問題（医療&介護）

小金井市ならではの地域包括ケアについてのビジョンと、その方策の交通整理を。

図書館×学校図書室

地域の「知」の支援拠点としての図書館をめざすことと、学校図書室連携を。

地域コミュニティとしての商店街

商店街が地域コミュニティ形成を担いつつ、賑わいを創出できる環境整備を。

小金井市議・白井亨の 2年間の成果報告

保育の「質」確保のための、ビジョン&ガイドライン策定へ!

小金井市全体の保育の「質」維持・向上のために、公立・私立を問わず、共通の目指す保育の将来像（ビジョン）と保育の「質」の維持・向上のためのガイドライン策定を市議会で何度も主張。その提案が実現。現在、保育計画策定委員会で協議が行われています。

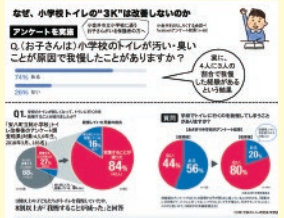
障がい者差別解消条例、委員会で修正後全会一致で可決へ!

昨年3月に市長から提案された障害者差別解消条例は、内容に不十分な点が散見されたため継続審議扱いに。厚生文教委員会の有志で視察、勉強会、意見交換会ののち修正協議を経て、次の定例会で修正案を全会一致で可決しました（2018年10月施行）。

シティプロモーション基本方針を策定へ!

以前から提案していた「小金井市シティプロモーションの基本方針」の策定がようやく実現しました。とはいえ効果的に情報発信をするためにはまだ内容が不十分であり、まずは考え方を整理したに過ぎません。今後はデザインの観点を入れた広報の在り方について提案していきます。

小学校トイレの3K問題の解消に向けての調査・研究



市立小学校のトイレの３Ｋ（汚い、臭い、暗い）について、市民からの声をもとに調査研究し、その原因と対策について提案しました。洋式化が遅れていることと、清掃含むメンテナンスの在り方が課題となっています。

キャリア形成支援型人材育成の在り方と女性管理職増への提言

小金井市役所職員1人ひとりのポテシャルがまだまだ充分発揮されていません。従来の型にはまった人材配置や研修による育成ではなく、キャリア形成支援を通して能力開発を促す新しい仕組みが必要です。この視点を次の人材育成計画に盛り込む旨の答弁を引き出しています。

討議資料

ねぇねぇ、教えて！

＼こがおも・子育て政策係 水谷多加子さんに聴く／

子どもたちのまちづくりの関わり方

PROFILE

水谷 多加子（みずたに たかこ）

兵庫県神戸市生まれ・小金井市在住（20年）／行政書士／オフィスTA・KA・KO代表／4人の子の母（24歳・21歳・18歳・16歳）／㈱リクルート人材センター（現リクルートエージェント）にて、企業内研修の営業・企画・トレーナー教育を担当後、退職／中央大学大学院法務研究科修了／子育て情報サイト「のびのびーの!」前編集長／NPO法人ライフサポート東京正会員／政策提言塾・NPO法人一新塾43期生　●現在進行中のプロジェクト→放課後を本気（まじ）で考えるプロジェクト／障がい者の自活できる社会創りプロジェクト 等

白井：これからの時代はまちづくりの合意形成の仕方が問われる時代です。市民1人ひとりの住む町への関わり方が課題ですが、水谷さんは、主権者教育の視察でドイツとスウェーデンに行かれましたよね。いちばん印象的だったのは、何ですか?

水谷：2017年にドイツの国政選挙期間中に見学した「候補者と小中学生の意見交換会」ですね。地域の各政党立候補者を呼んで、一問一答式でやるのですが、質問の内容を考え司会進行をするのは、なんと小中学生なのです。

白井：すごいですね! 行政が形式的な場を整えて市民がお客さん的に参加の日本と違いますね。小中学生との対話はどんなやりとりがあったのでしょうか。

水谷：例えば、各党の学校予算の政策説明に対し、子どもから「あなたの党は、前回の選挙で小学校の改修工事をすると言ったけど、1校やっただけでやめてしまいましたよね?」なんていう鋭い指摘がありました。大人もタジタジです。

昨年 11 月のスウェーデン視察報告会の様子

白井：子どもたちがそんな風に具体的なツッコミや質問ができる背景には、選挙時のみならず普段からのリアルな主権者教育が要因なんですかね?

水谷：政策に関係するようなテーマの授業や、化学の授業で原子力について学び、原子力発電の是非を議論させたり、選挙にあたっては、テーマごとで各党の政策がわかるようにまとめた冊子を配ったり、子どもたちに自分の政党をつくり政策を考えさせる授業等がありましたね。

今回のお話で感じたこと

短時間のヒアリングで「子どもの意見を聴いた」と終わらせるのではなく、子どもたちに自分の意見を自由に発言してもらう工夫が必要だと感じました。また、選挙の時だけではなく、日常からの主権者教育活動や、そもそも自由に意見を言い合える雰囲気が重要だと思いました。

＼残り2年／さらに取り組むテーマ

庁舎・福祉会館建設

特別委員長になりました。より良い庁舎と福祉会館となるよう、議会としてのチェック&後押しを。

子どもの権利&居場所づくり

条例施行10周年を機に、実効性のある施策を提案中。子どもの育ちに全面的に支援を。

都市計画道路問題

はけの自然と景観・文化を変えてしまう3.4.11号線について、その建設の是非を協議できる場の要望へ。

2025年問題（医療&介護）

小金井市ならではの地域包括ケアについてのビジョンと、その方策の交通整理を。

図書館×学校図書室

地域の「知」の支援拠点としての図書館をめざすことと、学校図書室連携を。

地域コミュニティとしての商店街

商店街が地域コミュニティ形成を担いつつ、賑わいを創出できる環境整備を。